

## 平成 28 年度 中央区長マニフェスト

中央区長 石塚 里栄子

## マニフェスト

中央区は、江戸時代から続く湊町としての歴史文化と商業機能や交通インフラをはじめとした都市機能が集積し、地域経済のけん引役としての機能を担っています。

一方で、超高齢社会への対応、中心市街地の空洞化など都市特有の課題も抱えています。

こうした課題に適切に対応するには、「自助、共助、公助」の理念のもと「協働」による取組が欠かせないことから、地域とともに課題解決に取り組む区役所を目指します。

この方針のもと、中央区は今年度、次の3つの取組を重点的に実施します。

- 1 地域コミュニティの活性化を図り、支え合いによる地域づくりを推進します。
- 2 災害に強い安心安全な地域づくりを推進します。
- 3 自然、文化、歴史に触れ、楽しく、わかりやすい地域づくりを推進します。

## マニフェスト実現に向けた取り組み

## 1 地域コミュニティの活性化を図り、支え合いによる地域づくりを推進します。

<b>現状 (課題)</b>	<p>高齢者や障がい者、子育て世帯が地域で孤立することがないように、地域、ボランティア、行政などが協働して支え合っていく必要があります。なかでも地域コミュニティ協議会は地域活動の中心的な存在であり重要性が増していますが、一方で、担い手不足や役員の高齢化、活動拠点の確保が不十分などの課題を抱えています。</p>	
<b>課題解決策</b>	<b>目標</b>	<p>地域コミュニティ協議会の活動支援や人材育成を図るとともに、支え合いによる地域づくりの実現のため地域健康福祉計画を推進します。</p> <p>中央区コミュニティ協議会連絡会と連携しながら、地域コミュニティ協議会相互の情報交換や、担当職員による活動支援、他区地域コミュニティ協議会の視察や研修による人材育成などにより活性化を推進します。</p> <p>「中央区支え合いの仕組みづくり会議」が軌道に乗るよう支援し、区民主体の支え合いの地域づくりを広く進めるとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを推進します。また、健康づくり活動を支援するとともに、そこで蓄積したノウハウを出前講座やシンポジウムなどで情報発信します。</p> <p>地域で安心して子育てができるよう、保健師、助産師など専門職に相談できる場、育児不安を相談できる場を提供するとともに、子育て講座の開催や子育て情報誌の発行を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を地域の関係機関と連携・協働して行います。</p>
<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ協議会の活動を支援</li> <li>・地域活動ふれあいの集いの開催</li> <li>・他区地域コミュニティ協議会の視察や研修会の開催</li> <li>・中央区コミュニティ協議会連絡会の運営を支援</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向け、地域主体の支え合い・助け合い活動を支援</li> <li>・超高齢地域 ICT 利活用モデルの構築</li> <li>・みんなでつながる子育てほっとサポート</li> </ul>	

	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	2
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ふれあいの集いや研修会などを開催するとともに、担当職員のコミ協行事などへの参加により、地域コミュニティ協議会への活動支援や人材育成を図りました。また、中央区コミュニティ協議会連絡会がまとめた要望に対し協議を行いました。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向け、各日常生活圏域毎に支え合いのしくみづくり会議を設置し、支え合いのしくみづくり推進員を選出いたしました。</li> <li>・妊カフェ、育カフェやママのほっとタイムの実施、子育て情報「たち」による情報発信によって、親同士の交流や情報提供を図り、育児不安の軽減を図りました。</li> </ul>				
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ協議会の活動に役立つような研修会などを企画するとともに、課題などを聞き取り整理することで、課題解決や地域活動の活性化を推進していきます。</li> <li>・一層の高齢化・少子化が進む中で、ますます人と人との交流・つながりが大切になっていくことから、地域包括ケアにおいては、支え合いのしくみづくり会議とコーディネーターを中心とし、生活支援体制の整備を行っていきます。また、子育て中の親の不安・負担軽減を図るため、継続して相談・支援事業を進めていきます。</li> </ul>				

2 災害に強い安心安全な地域づくりを推進します。	
現状（課題）	<p>東日本大震災以後、地域における防災に対する意識が高まり、自主防災組織による避難所運営を取り入れた訓練の実施や防災士資格の取得、防災保管庫・資機材の整備などが進んでいます。</p> <p>どのような災害が発生した場合でも、市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくりや、地域での「顔の見える関係」づくりが必要になっています。</p>
課題解決策	<p><b>目標</b> 市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みや、地域での「顔の見える関係」づくりを推進し、地域防災力の強化を図ります。</p> <p>都市型災害への対応を図るため、自主防災組織リーダーや防災士等を対象とした研修会を開催し、災害発生後の初期対応や避難誘導、避難所運営などを地域が主体となって対応できる体制づくりを進めます。</p> <p>また、災害時要援護者を地域で助け合える体制づくりや、現時点の県津波浸水想定に基づく地域住民による地域版の津波自主避難マップ作成を支援することで避難計画の策定を進め、市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくりを更に推進します。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練の実施</li> <li>・中央区災害時要援護者支援推進事業</li> <li>・地域版津波ハザードマップの作成支援</li> </ul>

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	3
	中央区ハイパージュニアレスキュー訓練及び中央区災害時要援護者支援推進事業の実施、また地域版津波ハザードマップの作成・配布により、地域の防災力強化を図るとともに、市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくりを行いました。				
今後の方針	中央区ハイパージュニアレスキュー訓練と中央区災害時要援護者支援推進事業は、来年度からの区づくり事業でも継続します。 地域版津波ハザードマップの作成支援は今年度で一旦終了しますが、今後新潟県から公表される新たな津波浸水想定を受けてマップを更新するかどうか、想定結果と該当コミュニティ協議会の意見をもとに別途検討します。				

3 自然、文化、歴史に触れ、楽しく、わかりやすい地域づくりを推進します。					
現状 (課題)	<p>中央区は、国内外の玄関口である新潟港や新潟駅、高い収容能力を持つ朱鷺メッセなどを有するとともに、日本海や信濃川、鳥屋野潟という豊かな自然に恵まれた地域です。また、本市初の国名勝に指定されている旧齋藤家別邸など、みなとまちの伝統文化が色濃く残っています。加えて、地域再生準大賞を受賞した「沼垂テラス商店街」など、地域活性化に向けた取り組みが行われています。</p> <p>これらの魅力を効果的に発信し、区民や来街者、外国人来訪者など誰もがわかりやすく、楽しみながら魅力あふれる文化、歴史や自然環境に親しめる、回遊性の高いまちづくりを進める必要があります。</p>				
	目標	地域との連携・協働により、中央区の自然、文化、歴史など魅力の発信を強化し、にぎわいの創出、交流人口の拡大を図ります。			
課題解決策	<p>中央区が本市経済のエンジンであり、都市型観光、MICE開催の舞台であることを、区民や来街者が明示的、直感的に理解できるようにするとともに、自転車を活用して歴史・文化施設を巡る環境づくりや、沼垂テラス周辺的环境整備を行います。</p> <p>また、特色ある区づくり事業を通じて、本市が誇るみなとまち文化や歴史、また信濃川や鳥屋野潟、日本海の豊かな自然が持つ魅力を発信し、にぎわいの創出を図るとともに受け入れの機運をさらに醸成します。</p>				
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区えんでこ（まち歩き）事業</li> <li>・伝統文化PR事業</li> <li>・発酵食産業PR事業</li> <li>・外国人文化体験事業</li> <li>・文化施設（旧齋藤家別邸・旧日本銀行新潟支店長役宅）の管理運営</li> <li>・健幸サイクル環境整備事業（ぐるりん新潟島）の推進</li> <li>・駐輪場の整備</li> <li>・自転車等駐車場のPR</li> <li>・沼垂テラス周辺的环境整備</li> <li>・「とやの物語《NEW STORY》」の開催</li> <li>・区民協働森づくりの推進</li> </ul>				

	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	3
取組結果	<p>健幸サイクル環境整備事業計画に基づいた整備や、自転車駐輪場の整備（古町地区）及び路上駐輪減少を目的にした既設駐輪場への誘導・マナー啓発により、区民や来街者の安全性・利便性の向上を図りました。</p> <p>また、平成29年度からの植樹する区民協働森づくりの計画を地域団体・有識者らと協議を行い策定することができました。</p> <p>沼垂テラス周辺の環境整備では、地域と意見交換を重ね、周辺環境と一体感のある公衆トイレを整備しました。</p> <p>「とやの物語《NEW STORY》」では、鳥屋野潟の自然や歴史を学ぶとともに、未来の鳥屋野潟への夢や希望について語り合う「子ども環境サミット」を開催し、関心を高めてもらいました。</p>				
今後の方針	<p>沼垂テラスでは、引き続き地域と力を合わせ公衆トイレの維持管理など、周辺環境の美化に取り組みます。</p> <p>「とやの物語」を引き続き開催するほか、県の「鳥屋野潟整備実施計画」の進捗に合わせて、実施計画の着実な推進や整備後の鳥屋野潟の有効活用に貢献するため、啓発活動に取り組みます。</p>				